

指導者研修のプレ・トライアル、トライアル（1回目）を実施しました

プロジェクトサイトで研修を開始する前に、指導者研修の講師や研修生が臨床研修と指導者研修のガイドラインやカリキュラムを理解することができるか、研修内容が適切か、講師が指導者研修のカリキュラムを理解して講義を行うことができるか、などを検討するため、指導者研修トライアルを計画、実施しました。

プロジェクトが企画したトライアルの前に、ドンナイ省ではトライアルでどんな準備が必要か、講師の人たちが困ることはないかを確認するために、独自にプレ・トライアルを企画してくださいました。その結果、講師説明会の開催が事前に必要であることがわかり、トライアルに向けて講師説明会を企画することになりました。

4月にハノイ市のセントポール病院でトライアルを実施しました。研修生は研修病棟で臨床研修計画を立てて管理し、指導者育成を担う病棟看護師長 16 名。講師はこれまで小作業部会のメンバーとして活動してきた看護有識者が担当してくれました。また、研修には保健省担当者や小作業部会のメンバーも参加し、研修終了後には評価会を行い、研修生、講師それぞれから改善するための意見をもらいました。

研修生の声

- 臨床現場で具体的に活用できる手法、事例やサンプルを提供してほしい
- いくつかの課は内容が難しすぎる
- 英語表示は誰でもわかるようにベトナム語にしてほしい
- 研修計画を立案した経験がないので、サンプルがあると理解しやすい

など

講師の声

- 限られた日数でどこに重点をおくか、各課の時間数の見直しが必要である
- 講師が話すだけでなく、アクティブティーチングの手法を取り入れるなど、工夫が必要
- 内容が重複しているところがあるので再度整理が必要

など



グループワークを行う研修生と研修生の質問に熱心に答える講師、研修を見守る保健省職員、看護有識者、日本人専門家



現場で使いやすいものになるよう、研修生の声は大切評価会で意見交換を行う研修生と日本人専門家